

- 1p 下期面接式を終えて ■
- 1p 第63回全国大会4日間を終えて ■
- 2p 秋田醸しまつり2014を終えて ■
- information 会員募集のお知らせ ■

■2014年度スローガン■

新しいあなたの創造の
~WillはSkillを凌駕する~

AKITA J C NEWS



撮影場所：2014年10月18・19日
秋田拠点センター アルヴェ1階 きらめき広場

■下期面接式を終えて

2014年9月30日、公益社団法人秋田青年会議所下期面接式が秋田ビューホテルで行われました。新たに秋田青年会議所の門戸をたたくていただく新入会員候補者の皆様、緊張しながらの面接を終え、懇親会で名刺交換している姿を見て、私が入会した当時のことを思い出しました。

2009年に私が面接式に入会候補者として臨んだ際は、当時の秋田青年会議所理事長でいらっしゃった2013年日本青年会議所会頭の小林宏介さんに面接をしていただき、本年度下期入会候補者の方々と同じく緊張しながら懇親会に参加していました。振り返れば、その後会員として様々な事業を企画・運営していく中で、諸先輩からのご指導をいただきながら、秋田への熱い思いや社会人としての作法など多くのことを学び、たくさんの方々の仲間に巡り合えました。

今年度下期入会候補者の方々と、秋田のために行動できる青年として、同じ志を持った仲間として、これから秋田青年会議所を盛り上げていきたいと感じました。

会員拡大委員会 今 亮人



■第63回全国大会4日間を終えて

次世代リーダー育成委員会 三浦善寛

10月9日～12日の4日間に渡り、第63回全国大会松山大会が愛媛県松山市において開催されました。初日の開会式及びウェルカムレセプション会場となった松山市総合公園展望広場は、松山城とほぼ同じ高さの地上130m付近に位置していることから、駐車、送迎スペースから会場までの急な上り坂を15分程歩くこととなりました。会場に到着し、歌と太鼓によるオープニングアトラクションに加え、眼下に広がる景色を目の当たりにした時に松山青年会議所がこの会場を選定した理由が分かりました。松山城を中心に松山市が形成され、その奥には自然豊かな山々が広がり、目を移すと瀬戸内海が一望出来る景色はまさに絶景であり、この地を初めて訪れる者に感動を与えるには十分な設えでありました。

鈴木会頭の「自ら積極的に参画する4日間であって欲しい」という挨拶から始まり、松山青年会議所西村理事長からは坂の上の雲、正岡子規の紹介を含め歓迎の言葉、中村愛媛県知事からは自身のJC活動を振り返り、「若者らしく大いに話し合い頑張ろう」との激励の言葉もあり、野志市長からは「台風も心配されるが不平不満を口にせず前向きに取り組む4日間にして欲しい」との激励をいただきました。

10日には、第63回全国大会松山大会第9回理事会並びに第9回ブロック会長会議が厳粛な雰囲気のもとに開催されました。公益社団法人埼玉中央青年会議所の星野理事長からは第66回全国大会の主管LOM獲得に向けた熱い意気込みが語られ、その後の投票において承認されました。

鈴木会頭からは困難、苦勞、挫折を乗り越え承認を得たことに対するお祝いの言葉があり、星野理事長からは志半ばでこの世を去った仲間を含むLOMメンバーに対する感謝に加え、2017年に埼玉から日本を変える全国大会を実現する旨の誓いの言葉がありました。

午後第146回総会においては2015年度の役員が選任され、代表理事として柴田剛吉君が選任されました。会員拡大褒賞授与式においては、20代拡大純増率最上位LOM(86名～150名の部)において秋田青年会議所が褒賞をいただき、田口理事長、丸野内常任理事が登壇した際にはLOMメンバー皆が喜びを分かち合いました。

11日は松山市内各会場においてフォーラム、セミナー等が開催され、夜の大懇親会においては各地JCとの交流が図られ、大変有意義な時間となりました。

12日の大会式典及び卒業式においては各来賓の方々よりご挨拶と激励の言葉があり、卒業生の挨拶として日本JC顧問の古川大司君より、日頃のJC活動を影で支えてくれる家族や会社の仲間を大事にして欲しい旨の挨拶がありました。卒業生退場の際には卒業生が会場のランウェイを歩き、皆から祝福される姿が微笑ましく印象的でした。この全国大会4日間を通じて、松山市内はまさにJC一色となりましたが、開会から最終日まで松山JCによるおもてなしの対応は素晴らしく、繁華街中心部には道案内及び接待ブースが設けられ、各地から来訪するJCメンバーに細やかな対応がなされるなど、学ぶべきところが多くありました。

この度の4日間に渡る貴重な経験を今後のJC活動・運動に活かすことをお約束申し上げ、参加させていただいたことに対する感謝の気持ちに代えさせていただきます。ご参加いただいたメンバーの皆様、ありがとうございました。



■秋田醸しまつり2014を終えて

あきたのたから活用委員会 小田嶋 雅彦

平成26年10月18日、19日の両日、秋田拠点センター アルヴェ1階 きらめき広場にて「秋田醸しまつり2014」を開催いたしました。初の2日間開催ということもあり、今年度より入会した私にとっては想像のつかないイベントでありました。

7月より、あきたのたから活用委員会へ所属となり、各関係団体の皆様が集まる「秋田醸しまつり実行委員会」に参加させていただきました。実行委員会では緻密な打合せ、細やかな気配りを目の当たりにし、各関係団体の皆様の「秋田醸しまつり」に対する情熱を感じることができました。

今年で4回目を迎えた本番当日、「あきたのたから」である発酵食品文化を県内はもとより県外へも広く情報を発信するこのイベントは国民文化祭の期間中ということもあり初日から長蛇の列。県内外のお客様に加え、外国のお客様も見受けられました。こんなにも多くの皆様が「秋田醸しまつり2014」を楽しみに待っていたのかと驚きを隠せませんでした。会場内においては県内の発酵食品が一堂に会し、各ブースにも行列ができ、品切れが出るほど大盛況でした。又、ステージイベントにおいてもステージイベント部会の皆様が工夫を凝らして多彩な催しを行い、会場の雰囲気をも盛り上げてくださいました。

私は「秋田醸しまつり2014」を通じて「あきたのたから」である発酵食品文化に魅力を感じ、各関係団体の皆様との連携させていただいたことにより「絆」という違う角度での「あきたのたから」を再認識し、自分が住み暮らす「あきた」に自信と感動を持つことができました。これからも、もっと大勢の方々に「あきたのたから」と「魅力」そして「絆」を広めて行きたいと思えます。

最後になりますが、ご協力いただきました各関係団体の皆様及びJCMメンバーの皆様、本当にありがとうございました。



会員募集のお知らせ

公益社団法人秋田青年会議所では会員を募集しています。
皆様の周りで、私たちの活動に興味のある方、また「一緒に活動したい」
「させたい」という方を是非ご紹介ください。

集え！
志共にする者たちよ！
つよい秋田を創造するために

【お問合せ先】

秋田青年会議所事務局 秋田市山王2丁目1-54 三交ビル3F
TEL：018-824-7070 FAX：018-824-7071